

進路だより

札幌市立幌東中学校

第11号

2026.7.1

「進路のしおり」の活用方法

本日「進路のしおり」を配付しました。ご家庭に持ち帰っていることと思います。この「進路のしおり」は、札幌市の中学生が卒業後の進路として選んでいる高等学校の情報を中心に、高等専門学校（高専）・専修学校などの情報や就職の手続きについて説明した内容となっています。このしおりは、多様な進路選択の基礎資料になると同時に、家庭での話し合いを深める際の手助けになると思います。進路について考えるためには、いろいろな情報を入手する必要があります。「進路のしおり」での学習を機に進路情報を集め、自らの進路希望をより具体的にしてもらいたいと思います。

2学期も「進路学活」の時間があります。その際に「進路のしおり」を活用しますので、紛失しないようにご家庭で保管をお願いします。

高校入試の種類について

たくさんのチラシやパンフレットが配付されています。各高校の「募集要項」も学級に保管されています。募集要項には、いくつかの出願方法が記載されています。名称の意味をここで確認しましょう。

「一般」…私立高校と公立高校を受験できます（「併願」とも言います）。私立高校入試は2月中旬、公立高校入試は3月上旬に行われます。私立高校は合格後、公立高校の合格発表を待つことができます。

「単願」…その学校1校のみを受験する方法です。合格したら必ず入学することになります。単願の私立高校入試は1月下旬に行われます（一部の私立高校では「2月単願」という制度があります）。私立高校の一般入試とは試験の内容が異なる場合が多くあり、合格の基準が異なる場合があります。公立高校入試では単願受検でも試験内容・合格基準・日程は変わりません（例年、公立高校を単願で受検する生徒はほとんどいません）。

「専願」…他校も受験可能ですが、合格した場合はその高校に必ず入学することになります。私立高校を第1志望とし、第2志望を他の私立高校または公立高校にする場合に使われます（第1志望を公立高校、第2志望を私立高校にする場合は「一般受検」となります）。

「自己推薦」（公立高校）…公立高校自己推薦は2月受検（今年度は2月9日）です。合格内定の場合はすぐに「入学確約書」を提出してもらいます。合格内定にならなかった場合はすぐに「再出願」し、公立高校の一般受検を受けることができます。私立高校に出願し受験することもできます。ただし、自己推薦の場合は出願変更ができません。また、自己推薦を欠席した場合は一般受検ができなくなります。

「学校推薦」（私立高校）…中学校の校長の承認を受け、「中学校の代表」として受験する制度です。その高校のみ受験する場合があります（私立高校によって違います）。なお、「自己推薦」を採用している私立高校もあります。

名称の一般的な意味をいくつか紹介しました。高校独自の意味合いで使用している言葉もありますので、私立高校についてはチラシ・パンフレット・学校説明会での詳細な説明を参考にしてください。また、学校説明会では募集要項や過去問題の配付をしている私立高校もあります。ぜひ、夏休み中に積極的な参加をしてください。複数の私立高校を比べることで、その高校の特色がわかり、私立高校選びの参考になると思います。